

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・おでんの売上が順調になってきている。また、割引セールも行うので、良くなる。
		旅行代理店（代表取締役）	・冬場の観光は団体シーズンを迎えるので、新型インフルエンザ等の影響が無ければ順調に良くなる。
		通信会社（店長）	・11月より新商品の発売が始まり、2年前に割賦で購入した商品の交換時期とも重なるので、年末商戦は期待が持てる。
	変わらない	ゴルフ場（経営者）	・来客数の数字としては上がってきている傾向があるので、少しは良くなる。
		百貨店（営業担当）	・政権交代による様々な公共事業の見直しや社会制度の変革により景気の停滞感にも変化が見られる可能性もあるが、長引いている不況感をぬぐい去る事は容易でなく、即消費行動に影響するとは考えづらい。消費者は少なくとも年内は様子を見ることが予想される。
		スーパー（販売企画担当）	・単価安、客数減などによる売上の落ち込みは続いている。明るい材料も無いので、このままの状態が続く。
		コンビニ（経営者）	・来客数は回復基調であるが、客単価が下がっているため、回復の見込みは無い。
		コンビニ（エリア担当）	・店の新旧を問わず、購買する点数、金額はシビアなままである。今後客単価が上がることは無いので、集客力に左右される。店舗力も関係するが、家から近い、入りやすい等立地上有利な店舗に分がある。
		衣料品専門店（経営者）	・前年同月と比べて、季節物の買物をする客が少ない。買い控えが結構ある。
		衣料品専門店（経営者）	・年内はもうあまり景気自体変わらない。しかし政権も交代し、来年以降は何かしら日本の経済も変わると予想する。すぐに良くなるはならないが、人々の気持ちにも前向きな変化が出るであろうし、期待したい。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・雑誌の特集なども貯蓄を勧めるものであったり、節約生活を勧めるものであったりと消費を促すような記事など一切無い。現実問題今後の政策によって明るい兆しが見えるか、そうでないかが全くの不透明である。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月に関しては、稼働率が大きく前年度を下回っており、この先も景気低迷に伴う消費マインドの低迷によって受注が思うように伸びない状況である。また夏季シーズンが終わりに、沖縄もオフシーズンへと向かい、尚更大きな需要増が見込めない厳しい状況が予測される。
		通信会社（店長）	・良くなる要素、悪くなる要素が見当たらない。
		通信会社（サービス担当）	・政権が代わり期待感はあるが、税負担などで様子見の方が多い。
住宅販売会社（商品開発担当）	・改善する気配は全く感じられない。今後は、客の要望にいかにかこたえるかなど、打つ手を考えて企業努力をしていかなければ生き残れないと強く感じる。		
やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・不景気感と新型インフルエンザの影響で、年末年始まで来客数や売上の増加には期待できそうもない。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客が落ち着いてきているので、平日の地元客の外食回数を増やさないといけないが、従業員が少ないなかで、非常に安くて、おいしくて、その上サービスも雰囲気も良くて、なおかつ外商活動を徹底しないと来客数が取れない厳しい環境にある。	
	観光名所（職員）	・これからの旅行環境は新型インフルエンザの全国的な感染拡大と、死亡者報道で厳しい状況が考えられる。県外からの入域観光客へ頼る沖縄観光は、修学旅行のキャンセルとますます厳しい状況が予想される。	
悪くなる	商店街（代表者）	・数か月前から流行している新型インフルエンザの影響もあるかと考えられるが、観光客も微妙に減少しており、地元客も出控えか、あるいは買い控えかで、全般的に来客数が減っている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（管理部門）	・一部主原料価格が下がり、円高の状況も継続している。
	変わらない	建設業（経営者）	・住宅展示場や、完成住宅見学会に来場客数はあるが、それが成約に至るまでの時間が長期化しつつある。

	輸送業（営業担当）	・景気の低迷が続いていることによる取引先の物流費削減や新型インフルエンザの影響による観光客減、県民の外出抑制などにより需要の低迷が続き、回復の兆しは見られない。	
	輸送業（代表者）	・政権交代による公共工事補正予算の発注に不安はあるが、離島地区では大型物件の発注時期となっている。ただし、民間物件は振るわない。	
	通信業（営業担当）	・相変わらず受注案件は無く、発注先でも仕事が少なく外注する程の仕事が確保されていない状況である。	
	広告代理店（営業担当）	・政権交代による補助事業凍結の動きに加え、新型インフルエンザによる観光入域客数の減少予想などを考慮すると、現在の低迷する景気が回復する見通しは厳しい。	
	会計事務所（所長）	・新型インフルエンザ騒動が収まりを見せているが、「沖縄＝インフルエンザ」という思考が定着すると、主要産業である観光に今後大きな影響がある。	
	やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新規の建設工事予定物件が減少すると予想され、製品出荷が鈍る見通しである。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼の減少は求人誌の募集減からも同様な状況があり、しばらくは今の状態が推移しそうである。ただ、最近、建設関係の依頼が続き面白い傾向も出ている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・県外製造業の求人増加に伴う派遣、業務請負企業の求人の伸び、といったプラス材料に若干の期待があるが、新型インフルエンザの流行による入域観光客数の減少予測というマイナス材料の懸念もある。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・県外製造業が少しずつ持ち直しているが、依然として厳しい雇用環境は続く。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・県外求人の減少、県内企業の様子見の傾向が今後も止まらない。
	悪くなる	-	-